

令和6年8月8日

報道機関 各位

【8/19（月）】島根大学グローバルサイエンスキャンパスで研究している高校生3名が、8月にインド工科大学で研究交流会を行い、成果を学長に報告します

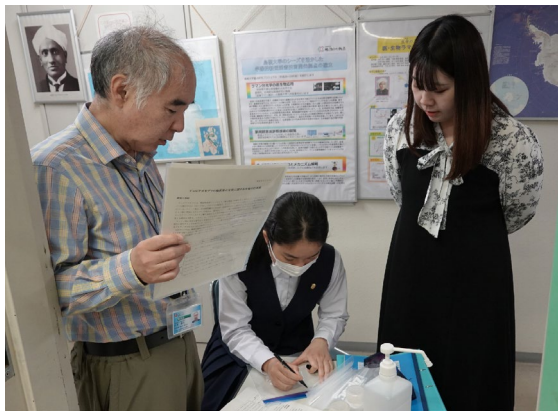
◆本件のポイント！

- ・次世代人材育成事業「島根大学グローバルサイエンスキャンパス（島根大学 GSC）」で研究している高校生3名が、海外で研究成果発表・交流会を実施
- ・出かけたのは、島根大学と交流協定を結んでいるインドの大学
- ・研究成果発表・交流会の様子について、島根大学長に報告

◆本件の概要

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の次世代人材育成事業に島根大学は採択されています。この事業では、科学に興味のある高校生たちが島根大学で研究をしています。選抜された3名の受講生が、8月にインド工科大学ハイデラバード校で、現地の研究者や高校生に研究成果を発表し、交流します。その様子を大谷浩島根大学長に報告します。

◆本件に関する写真



左：島根大学で研究する受講生。左奥にインド人ノーベル賞受賞者 C.V.ラマン博士の写真が見える。
右：環境 DNA を調査するため、松江城の堀川の水を採取する受講生。外来生物について発表した。

◆詳細

日時：2024年8月19日（月） 17時から
場所：島根大学松江キャンパス本部棟3階 特別会議室

◆本件の連絡先

島根大学グローバルサイエンスキャンパス事務局
電話 0852-32-6357



人とともに 地域とともに

島根大学

SHIMANE UNIVERSITY

◇その他

- ・島根大学グローバルサイエンスキャンパス web サイト：<https://next-g.shimane-u.ac.jp/>
- ・山陰地方とインドは強い繋がりを持っています。インド哲学を初めとする東洋思想研究者である**中村元博士**ゆかりの地であり、新興国として成長著しいインドとの産業経済及び地方文化の向上発展を目指す**山陰インド協会**も設立されています。島根大学においては、インド人ノーベル賞受賞者：**C.V.ラマン**が発見した現象(ラマン効果)を応用したラマン分光法による研究が盛んです。
- ・今回、インド工科大学ハイデラバード校で研究成果を発表した受講生は、山陰両県在住の高校生です。

【添付資料： あり（ 枚） なし 】